

大柿高校大君分校

46年の歴史に幕

大柿高校大君分校閉校式が、3月7日(土)同校体育館で行われました。学校関係者100人を前に、羽仁 正一校長が「県内初の産学一体となった正規の高等学校として、816人を送り出した歴史は決して消えることがない」とあいさつ。1期生だった平口 武さんは「地域の教育文化の場が消えることは寂しい限りだ。島で生きる若い情熱に期待したい」と惜別の言葉を贈りました。同校は、前進の大柿高等学校

校定時制と同校中村分校が地元企業と連携して昭和39年に設立。同校を含めて定時制過程で1200人を社会に送り出しました。



第32回かきカキマラソン 1080人が汗

今年で32回目になるかきカキマラソン大会が、沖美町高祖埋め立て地を主会場として、3月1日(日)に行われました。3km・5km・10kmのコースに合計1080人が出場。完走者には、参加賞としてスイートピーや焼きがきが振舞われました。



出迎える大柿ソフトスポーツ少年団

福祉のまちづくりの集い 支えあいの地域づくりを講演

「お互いさまでつながる新たな江田島コミュニティ」をテーマに、江田島市福祉のまちづくりの集いが農村環境改善センターで行われ、市民250人が参加しました。

基調講演では「地域における新たな支えあいを求めて」と題して、関西学院大学の牧里教授が「地域づくりは、地域生活を楽しむことが必要だ。継続した取り組みをすることで互いの支えあいになる」と講演。

シンポジウムでは、「小地域福祉活動推進モデル事業」など、市内で地域づくりを進めている6人のパネラーが実践活動を報告しました。

本市からは、3月に策定した地域福祉計画について、市民が情報を共有する場づくりや、地域の実情に即した福祉のまちづくりの必要性を説明しました。

集いは、同モデル事業の一環として、社会福祉協議会が開催したもので、モデル地区の具体的な取り組みは、次年度以降も継続します。



古今亭 菊千代さん講演 落語は人情そのもの

女性で初めて真打となった古今亭 菊千代さんを講師に招き「江田島市男女共同参画講演会」落語界に新しい風を吹かす女性初の真打とっておきの「はな」を3月15日(日)、江田島コミュニティセンターで行いました。

「手ぬぐいと扇子だけで人を笑わせる」喜びを知り、男性社会だった落語界に入門。多くの苦勞を乗り越え、平成5年女性初の真打となりました。200人を前に「落語は、人情を伝えてくれる。うわべだけの同情よりも、常に相手と話すことで、相手の気持ちを知ろうとすることが必要だ」と講演しました。菊千代さんは、昭和59年古今亭 圓菊に入門。聴覚障害者に落語を伝えたいことから手話落語の公演や、刑務所・拘留所などの慰問に回っています。



男女共同参画会 講演

アダプト活動団体

(順不同)

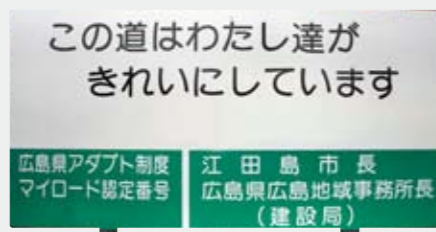
| グループ名 | 主な活動 | |
|---------------|------------------|---------------|
| 三興建設(株)(江田島町) | 国道487号の清掃 | |
| 能美町 | 永田川カエル倶楽部 | 永田川の清掃 |
| | 鹿川ドリームグリーンロード愛好会 | 国道487号の清掃 |
| | 呉信用金庫能美支店 | 国道487号の清掃 |
| | 才越道クリーンクラブ | 県道高田沖美江田島線の清掃 |
| | 樋守自治会 | 永田川・才越川の清掃 |
| 三高中学校(沖美町) | 県道高田沖美江田島線の清掃 | |
| 大柿町 | (株)イズミ | 県道江田島大柿線の清掃 |
| | 大柿高等学校 | 国道487号の清掃 |
| | 呉信用金庫江能支店 | 県道江田島大柿線の清掃 |
| | 大古女性会花はなクラブ | 国道487号の清掃 |
| | 深江区民会 | 県道深江柿浦線の清掃 |
| | 古澤建設工業(株) | 国道487号の清掃 |

地域一体の清掃活動 アダプト活動に13団体

広島県では、県が管理する道路や河川の清掃や草刈りなどのボランティア活動を支援する「広島県アダプト制度」を行っています。

これは、『私たちのまちの道路や川は自分たちの手できれいにしよう』という地域住民や団体・企業ボランティアに清掃の作業を任せ、行政と一緒に住み良いまちづくりを目指すものです。

市内では2月末現在、13団体が活動団体として認定され、地域で道路や河川の清掃・草刈りなどの作業に参加しています。



活動場所には看板設置

切串女性会 路線バスを積極利用



「みんなで守ろう、みんなのバス」を合言葉に、切串女性会(下野 紀代子会長)では、江田島バスの積極的な利用に取り組んでいます。

2月21日(土)に開催された柿浦女性会との研修会の際は、役員14人が切串バス停から乗車。

途中、小用で乗り換え、柿浦浜まで乗車しました。下野会長は「バスの車窓からは眺めが良く、乗客同士が会話できるので、コミュニティの輪も広がる。市民の大切な公共交通のバスを守るために、今後も活動を続けていきたい。バス利用の輪が広がってくれば良いですね」と話していました。

古鷹山の桜を救え ボランティアが保護活動



活動の様子

「テングス病の桜を救おう」をスローガンに、3月8日(日)

ティア活動したものです。当日は池田 朝雄さん(能

古鷹山森林公園で切串自治会を中心に33人が桜の保護作業を行いました。古鷹山森林公園に植樹されている桜のほとんどが「テングス病」にかかっているため、自然を守ろうと地域の人々が、ボランティア活動したものです。ティア活動したものです。当日は池田 朝雄さん(能美町鹿川)が、病気の特性や処理方法を指導。作業は初めての人が多く、指導を受けながら、20本の桜を保護しました。作業終了後、花野 伸二自治会長は、「多くの桜がテングス病にかかっている。ボランティア活動を継続して、対策に努めていきたい」と話していました。テングス病は桜や竹に発生する植物病害の一種で、植物の茎・枝が異常に密生し奇形する病気。木の上に巣のような形ができるためこの名がつけられ、放っておくと、周囲にある健康な枝にも伝染してやがて枯れてしまいます。